グリーンたいむ

2007-6月
vol.76
発行：グリーンコープ生活協同組合くまもと

いっしょに広げましょう グリーンコープ運動

07年度の活動がスタートしました。元気プロジェクト展開の2年目も、各委員会「いのちを育む食べもの運動」として、様々な取り組みに挑戦していきます。キーワードは「地域組合員とともに！」。
各委員長から届いたメッセージを紹介します。

出会い、ふれあいを大切に 楽しく活動していきます

今年度は地域の組合員への利用普及を第一においた委員会として、地域組合員に一番近い地区や地域本部の利用普及活動を支える委員会として活動します。

多くの組合員との出会い、ふれあいを大切に、自然を守ることに繋がるグリーンコープの産直を通して、生命を育むグリーンコープの食べものが多くの組合員に愛されるよう、楽しく活動していきたいと思います。

食べもの委員長　松岡 千賀子

組織・環境委員長　木村 和子

福祉委員長　山田 弥加

水環境を守る せっけん運動を すすめます

最近は環境の変化を肌で感じるようになりましたね。グリーンコープには、せっけん運動や４Ｒ運動、環境家計簿をつけるなど日常の生活の中でできる環境の取り組みがあります。特にせっけん運動は、水環境を守る第一歩です。せっけんモニターや地区でのせっけん学習会、グリーンたいむ等でせっけんの良さを伝えていきます。ぜひ、皆さんも取り組みに参加し、せっけんの良さを実感してくださいね。

新しく「学校給食」について 取り組みます

今年度の福祉行政訪問は、子育てや食育の視点から「学校給食」について調査します。組合員が地域の一住民として行政を訪問し、子どもが毎日食べている「学校給食」について調べることから地域福祉への関心を深めていきたいと思います。また、今年度は“福祉委員会だより”を発行し、いろいろな取り組みについてもお伝えしていきます。お楽しみに！

地域総代会開催

―2007年5月15～18日―

いきます

各地域本部で総代会が開催されました。各会場では、地区から選出された地域総代が一堂に集まり、06年度の活動報告や07年度の方針などを審議。新体制も確認され本格的な活動がスタートしました。

今年度は各地域本部「商品をもっと知ろう」と生産者やメーカーと交流する取り組みを展開しています。各会場でも総代会終了後、にぎやかな商品交流会が開催されました。

―商品交流会―

グリーンコープの
食材のみで作ったオードブル

このジュース
「おいしいねー」

産みたての産直たまごを試食する
組合員と那須ファームの
那須さん

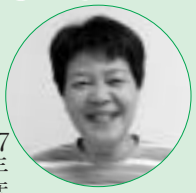
商品について丁寧に語る
九州むらせの永岡さん

商品を前に会話もはずむ組合員

「それは何に
使うの？」

県央東

5月18日（金）
パレアホール



今年も「ウェルカム企画」にぜひ来てくださいね

07年度のキーワードは「地域と共に」。楽しさ、おいしさの「体感・実感！」。

日々の元気な組合員活動を通して更なるグリーンコープ運動を広げていきます。産直の取り組みや商品の試食交流会などのウェルカム企画の案内をカタログGREENと一緒にお届けしますので、どうぞ参加してくださいね。お待ちしています！

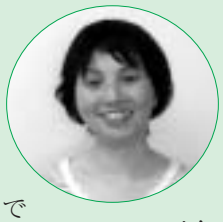
地域理事長　山本　睦子

拍手で地域理事を承認

緊張の面持ちで審議をすすめる議長

県　南

5月15日（火）
ハーモニーホール



いのちを大切にするグリーンコープらしく

今年、大切にしたいと思うのは「出会い」と「語り合い」です。

私たちは今、不安がいっぱいの社会に生きています。でも、私たちは何よりも「いのち」を大切にグリーンコープにつどっています。この「いのち」を大切にする思いを多くの人に伝えたい、語り合いたい。そのためにも地域の組合員と共に、これから元気で楽しい活動を皆で作っていきたいと思います。

地域理事長　藤田　順子

せっけん運動の広がりについて意見を出す総代

地域組合員と共に
商品を身近に実感できる
活動をすすめて

各会場に６社から13社のメーカー・生産者を招き、交流を深めました。各コーナーには試食がたくさん並び、商品のこだわりやおいしさについて質問や意見が飛び交いました。

総代はグループごとにわかれ各メーカーを巡りました

県北

５月17日（木）
和水町中央公民館

組合員の声にもっと耳を傾けたい

右も左もわからずに歩み始めてはや丸二年。一年一年を大切にしたいと思うこの頃です。今年度は、生産者と組合員が出会う場をたくさん用意したいと思います。そして、組合員の〝困った〟が一つでも減るように、職員と共に現場の声に耳を傾けていきたいと思います。商品の充実、福祉・環境、人と人とのつながりなど、グリーンコープに求められていることを精一杯頑張ります。

地域理事長　小出　明美

各委員・理事の紹介をする会場

大矢野原農場の日永さんみごとな鶏の部位解体を披露

やまびこ会の中塘さん独自資料を活用しての青果物の説明

「すごい試食の種類ね」

県央西

５月15日（火）
パレア第一会議室

地域の中でたくさんの出会いを！

地域総代会も無事に終了し、又あらたな気持ちで07年度をスタートすることができました。

地区総会や地域総代会での商品交流会では、グリーンコープの「食べもの」を真ん中に置き、生産者・メーカーと語り合う場面が見られ、手応えを感じました。

今年は、県央西として積み重ねてきたことをもっと地域に発信し、たくさんの出会いに胸躍らせながら活動していきたいと思います。

地域理事長　久米田　薫

開発・リニューアル委員会による昨年度の開発商品のアピール

生産者を囲み熱心に商品について質問する組合員

ってやさしい！

商品をもっと身近に

知っトク!!★

その②　せっけん

産まれてくるわが子に…
せっけんモニターで決めました

６月で娘も10ヶ月になります。色々なものを口に入れますが、お気に入りのガーゼを口に入れても安心してなめさせています。

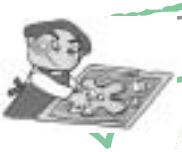
★06年度せっけんモニター★
坂本 志穂さんと
月音ちゃん（10ヶ月）

ところが「お洗濯のしゃぼん液体」を使ったところ、まったくにおいも気にならず、すっきりと洗え、大満足。産まれて来るわが子にぜひ、グリーンコープのせっけんを使おうと決めました。

坂本さんから届けられたメッセージ

子どもが産まれてみると毎日洗濯ものの山。でも普段からグリーンコープの安全性にも信頼をおいているので何の心配もなく思い切って洗濯をしています。一番心配だったのは、長く使うとせっけんのにおいが出てきてしまうのではないか、ということだったのですが、主人の実家などへ行っても「とってもいい香り！！香水にして持っておきたいくらい」と大好評です。

娘が大きくなってもグリーンコープのせっけんで楽しくお洗濯していきたいと思っています。



粉せっけん大活躍術

レンジ廻りに最適

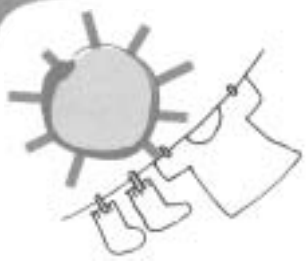
とろとろせっけんレシピ

材　料　コンパクト
お洗濯のしゃぼん…大さじ２
お湯（50℃位）…100cc ～150cc

作り方　材料をあわせトロミがつくまで手で混ぜる
スライム状になったらできあがり

＊特に油汚れに強いのでレンジ廻りで使ってみてください。すっごく落ちますよ!!

私にとっては「万能グッズ」



せっけんを本格的に使うきっかけは、２人目の子どもが産まれたことです。その後、グリーンコープの活動を始めて、洗濯だけでなく台所や家の掃除、お風呂でも使えることを知りました。

今年４月に参加した「シャボン玉フォーラム」（神奈川県）で、世界の水資源の現状をもとに、水は大切な資源であり、汚さないことが大切であるという話を聞きました。

せっけんを使うことの積み重ねが水を守り環境を守ることにつながっていることを実感し、これからもずーっと使い続けていきたいと思いました。

せっけんは、アトピー体質である私の身体に優しく、使い勝手も本当に良い万能グッズです。ぜひ、まだの方も使ってみてください。

組織・環境委員長　木村 和子

みなさん、せっけんは使われていますか？

せっけんは安心して使える、本当に優れた洗浄剤です。しかしながら良く言われる、使いにくい点があるのも事実です。でも、この弱点を良く考え理解すると、環境のことを知ることができます。「お皿を洗う時は､油や汚れを拭き取る」。めんどうくさいことと思えますが、この一手間は環境を守る事につながっています。食器洗いの時間が短くなることはもちろん、すすぎの水も減ります。ひいては排水に流れる残さも減って、環境への負荷も減らす事ができます。使いにくさを補う「一手間」は、日々の中でできる大切な環境活動に繋がっています。

私たちは、メーカーとして「せっけん」の優れた点をＰＲしながら活動していますが､グリーンコープと出会えたことは、「作って売る」という単純な事だけではなく、一緒に「せっけん」を通して歩いていく事ができるという共感がもてて、本当に幸せな事でした。組合員の皆さんからは、いつも元気と勇気を分けていただいている気がします。これからもみなさんの「せっけん」への期待に、そして「あったらいいな」という思いに応えて喜んでもらえる商品作りにチャレンジしていきます。

㈱地の塩社　田口 恵さん

「地の塩社」の社名の由来は、新約聖書の中にある「地の塩」の言葉にあります。「塩」は目立たないものですが、人が生きる上で欠かすことができないもので、目に見えないところで私たちを支えています。私たちの社名には、このように人や自然に役に立つ必要な存在であるようにあれとの理念がこめられています。

せっけん

出産前から子どもの衣服にはせっけんをと決めていました。

グッドタイミング♪

どこのせっけんを使おうかと考えていたとき、グッドタイミングでグリーンコープのせっけんモニターのお知らせが！さっそく申し込みました。

でも粉せっけんには独特なにおいがあるのでは…、と一抹の不安が…。

お皿についたミートソースはゴムベラや古紙などで予め拭き取ってから洗ってくださいねとアドバイスする田口さん
（県北地域本部・商品交流会にて）

粉せっけん大活躍術

網戸洗いに最適

あわあわせっけんレシピ

材　料　コンパクト
お洗濯のしゃぼん…小さじ１
水…カップ１

作り方　材料をボウルに入れ、ボウルいっぱいになるまでよーく泡立てればできあがり

＊戸につけたままの網戸に片面よりヘラなどで左官さんみたいに塗って30分くらい放置します。その後、布でふきます。(下にぼろ布をひいておいてね)

産直講演会

5月2日（水）、産直講演会が開催されました。講師宇根豊さんのユーモアあふれる熱のこもった内容の一部を紹介します。

宇根 豊 さん

1950年長崎県生まれ。1973年より福岡県農業改良普及員になり、78年より減農薬運動を推進。1989年に福岡県二丈町に移住し、2000年ＮＰＯ法人「農と自然の研究所」を設立し代表理事に。

著書に「田んぼの学校・入学編」「減農薬のイネつくり」「田んぼの忘れもの」など。

一杯のごはんが一匹の赤とんぼを育みます

百姓仕事が自然をつくる

かつて自然は、教えてもらったり、わざわざ認識する必要もなかったのに、今はそうもいかないようです。日本人は身近な自然を守らなければならないものという意識が薄いから、畔の生き物や草花に目を向けていくきっかけが必要だと感じます。

例えば、かえるの鳴き声は代掻き・田植えが終わったという夏の訪れを知らせてくれますね。しかし、かえるは代掻きが終わらないと、一斉にオスがメスを求めて鳴き出すことはないんです。代掻きがすむと水位は安定し、水は一挙にぬるみ、おたまじゃくしの餌となる藻やユスリ蚊があるから安心して産卵ができる。

一杯のご飯をつくるために必要な稲の周りには、35匹のおたまじゃくし、一匹の赤とんぼがいる。つまり稲作は、おたまじゃくしを生み、赤とんぼや虫、畔の花などを育てているのです。

産直の一番の目的は？

田んぼの周りや里山には害虫益虫だけではない「ただの虫」がたくさんいる。しかし、今、多くの生き物が絶滅の危機に直面しています。畔の花や生き物の言葉を代弁したい百姓は、たくさんいます。産直の目的は、そういった思いを支えることではないでしょうか。農薬は百姓自身が一番使いたくないんです。

現代は自然にも効率化を要求しているように思える。お金にならないところにも税金を使うという価値観の転換が必要でしょう。自然と人間は食べものを通してつながっていることを実感して欲しいから、一人でも多くの人に田んぼに来て欲しい。最大の自然保護はその土地でできたものを食べることだと思います。

会場に貼られた田んぼの生き物のポスター

07年度 産直交流活動スタート

今年も５つの体験田で
楽しい交流が始まりました。

５/19（土）県北
JA阿蘇・阿蘇市

親子で参加の澤田さんと佳奈子ちゃん

当日は風が強く水が冷たく感じられたようです。田植えのあとの昼食交流では「ちゃんこ鍋」がふるまわれ子どもたちからも「おいしい」「あたたまるね」の声が！

５/26（土）県央東
JA阿蘇・小国郷

田植えでは生産者も田んぼに入り、組合員や子どもたちとわきあいあいの交流ができたようです（写真上）。

また、昼食交流のあとはお米や小国のことについての○×クイズがあり、大いに盛り上がりました（写真下）。

子育てサークルが天草に誕生!!

グリーンコープ生協くまもとでは、子育て応援の具体化の一つとして「子育てサークル」を立ち上げてきました。
07年度、天草エリアに9つ目の子育てサークル「Hug Hug(ハグハグ)」が誕生しました。代表者からのメッセージをご紹介します。

「どんな活動にしていこうか」と初会議

おやつタイム　遊んでいた子どもたちもサッと集まります

NEW Hug Hug（ハグハグ）

天草で活動をスタートしました「Hug Hug」（ハグハグ）です。お母さんが子どもを抱っこすることからイメージして名づけました。子どもはもちろん、お母さんが憩い・楽しめる時間をつくれるよう活動していければと思っています。メンバーもまだまだ少ないのでたくさんの方に参加していただけたらと思います。まずは、気軽に見学からどうぞ。

代表　堤 奈津枝

✻「Hug Hug」へのお問い合わせは…
県央西地域本部組合員事務局へ
☎096－324－8224

こんにちはワーカーで活躍中です!

おはなし会で読み聞かせをしています

NPO法人
子育て支援ワーカーズ
ぺぺぺぺらん
大林 和子さん

20年前、子育て真っ最中に出会った“絵本の読み聞かせ活動”。その活動を地域に広げようとワーカーズの立ち上げから関りました。現在はぺぺぺぺらんの店で児童書の販売や、キッズルームやおはなし会等を担当しています。また、この春にはおもちゃのコンサルタントの資格も取得し、子どもたちに栄養満点のおもちゃを手渡したいとお店に立っています。

子育て中のお母さんたちに、絵本やおもちゃの大切さを伝える、大事な役割なんだと、やりがいを感じながら働いている日々です。

手作りおもちゃを子どもにモニターしてもらっているところ

●連絡先　NPO法人 子育て支援ワーカーズ
ぺぺぺぺらん　☎096－337－0450

阿蘇グリーンストック便り⑦

阿蘇の野の花

阿蘇をドライブ中に草原できれいな野の花を見かけて癒された方も多いと思います。

火山活動や冷涼な気候のほか牧畜など人々の暮らしに結びついた活動によって、多くの貴重な植物が維持されているのです。

阿蘇以外ではほとんど見られないもの（キスミレ、ヒゴタイなど）や、絶滅の危機に瀕しているもの（ツクシマツモト、ハナシノブなど）も数多くありますが、そういった植物を無断で採取（盗掘）や損傷する心ない行為も後を絶ちません。

現在パークボランティアの方をはじめ、地元の方もパトロールで巡回しながら、阿蘇の野の花を守っています。

草原に咲く花は、草原だからより美しく見えるのです。美しい野の花を後世に伝えるためにも、眺めるだけにして楽しみたいものですね。

6月から8月頃に見られるハナシノブ

㈶阿蘇グリーンストック
事務局　井上 聡美さん

co-op 共済ニュース
夏の共済キャンペーン

（７月２日～８月４日）

今年度の改定で、女性・医療・ベーシック・シルバーコースにおいても病気入院を１日目から保障します。
《たすけあい》は全国で５２７万人（０６年度）が加入されています。
組合員同士の「助け合う」こころが広がっています。

折り鶴、とってもかわいくてうれしかったです。

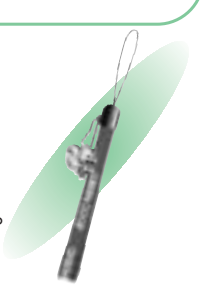
なんだかバタバタとしていて提出を忘れていたところ、確認をしてくださったのでありがたかったです。書類提出から受け取りがあんまり早くてびっくりしました。たまたま記帳に行った時、何の入金かわからなかったぐらいです。本当にありがとうございました。折り鶴、とってもかわいくてうれしかったです。たまたま娘の保障に良さそうに思って入ってみました。対応が早いのがすごいです。

（組合員の
「加入者アンケート」から）

家計に負担をかけずにいいですね。

息子が学校で転んで指を突いて帰ってきました。翌朝になっても痛がるので病院へ。４日間の通院となりました。共済に加入していたことを思い出し、請求させていただきました。簡単に早く手続きが終了し、ありがたく思います。気軽に加入でき、請求の際も丁寧に対応していただけます。家計に負担をかけずにいいですね。

ジュニア18コースに
加入された方には
ＧＣオリジナル
「元気くんストラップ」を
もれなくプレゼントします。



co-op共済 たすけあい

ＣＯ・ＯＰ共済への加入や共済金の給付については、所属センターまたは配送担当者にお問い合わせください。

もしもし電話コーナー

GREEN

くらしアップ情報誌「くまもと」

フリーダイアル 0120-400-333

住宅リフォーム、保険、車検、ローン、鍵・防犯機器、引越し、チケットなどのお求めはお気軽にご連絡下さい

ふくし情報でんわ

開設曜日…月曜～金曜
（祝日は休み）
開設時間…午前10時30分
～午後４時30分
電　　話…0120－540－294
（フリーダイヤル）
ＦＡＸ…096－338－4251

団地の横を流れる小さな川に久し振りに蛍が飛び交った。昨年秋に亡くなった父は、晩年蛍の保存に奮闘していた。ゴルフ練習場の照明などで見かけなくなって久しかったが、今年また多くの蛍が初夏の夜に舞い飛んだ。この町で育ち、最近パパになったばかりのＮ君は、わざわざ父の霊前にそのことを報告に来てくれた。彼の記憶の中に蛍の乱舞と共に父の姿が残っていたのかと思うと、嬉しくて涙が止まらなかった。（渡辺）

発行　グリーンコープ
生活協同組合くまもと

発行責任／理事会
編　　集／機関誌編集室
発 行 所／〒860-0056 熊本市新土河原２丁目1-1
☎096-324-8118㈹　FAX096-324-8123
印 刷 所／ホープ印刷㈱

■県北地域本部　14,156名　■県央東地域本部 27,220名
■県央西地域本部 17,920名　■県南地域本部　7,895名
合計 67,191 名（５月20日現在　店舗組合員を含む）